

## 事業計画、是非ご一読を

先日(4/24)の会員大会は、加藤市長、山口町長はじめ、多数の会員さんのご出席をいただき、おかげさまで無事開催することができました。改善すべきこともたくさんあったように思いますが、今後も続けていきたいと思えます。

基調講演の藻谷浩介さんの消滅可能自治体のお話は興味深いものでした。人口の増減を〇か×かで単純に判断するのではなく、その中身(どういう年代が減るのか増えるのか?)をしっかりと観ると全く違う絵が見えてくる。その結果、打つべき手が観えてくる。その一つが「地域でいかにお金を廻すか」だと...

わが意を得たり!と、今年度の事業計画は、(甚だ手前味噌ですが)正鵠を射ていると確信しました。是非、ご一読いただきたいと存じます。

1.会頭所信 2.スローガン 3.重点施策(11本の柱)4.活動計画からなっています。会頭所信については、本紙、商工小田原箱根の4月号に掲載、その他はホームページに全編掲載しております。

7つの部会、女性会、青年部を基本に、7つの特別委員会の活動も本格化、さらに加えて「タスクフォース」という新しい取り組みも始めました。今年度も小田原箱根商工会議所の動きにご注目ください。いや、ご注目だけでなく、一緒に活動しましょう。

追申:今年度も今月5月に会員満足度調査を実施します。忌憚のないご意見、ご要望をお聞かせください。皆さまからのフィードバックが会議所活動の糧でありますので。

小田原箱根商工会議所  
会 頭 鈴木 悌介